

広島市議会への提案発表会（2学年）

11月6日（月）、広島市議会主催の「広島市立高等学校の生徒による広島市議会への提案発表会」が行われ、本校から2年生4名が学校を代表して発表しました。

この発表会は、広島市議会が「市民が身近に感じる開かれた分かりやすい議会」を目指す中、選挙権が18歳以上に引き下げられたことなどをふまえ、高校生によりフレッシュなアイデアや提言等を幅広く聞くことにより今後の議会活動の一助とすることや、発表した高校生にとって政治や行政への関心を高めることを目的に今年度初めて計画実施されたものです。

発表場所は広島市議会4階議場で、広島市立高校より9グループが、多くの議員の方々を前に、皆堂々と発表しました。発表時間は15分ずつで、舟入高校は6番目の発表でした。

発表した2年生（沖野加奈さん、元木瀬理さん、西山珠貴さん、安田鈴葉さん）は、6月に現代文の授業で学習した若林幹夫さんの評論文「景観とは何か」をヒントにし、1年次からの「総合的な学習の時間」での平和学習での気づきや、修学旅行（屋久島・種子島・知覧）での「課題研究」の取り組みを活用し、「『景観』を通じて考えるひろしまのまちづくり」として提案発表をしました。

4人は、発表原稿・パワーポイント資料の作成から発表練習まで、そのほとんどを自分たちで進めました。本番の発表に先立ち、10月31日の現代文の授業では、リハーサルも兼ねクラスでの発表も行いました。クラスメートから、具体的で適切な多くのアドバイスを受け、勇気づけられて本番に臨みました。

